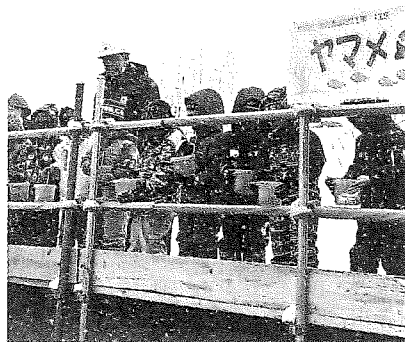


各企業等の社会貢献

宮坂建設工業がヤマメ放流会  
地域の自然に親しんで  
園児とともに稚魚見送る

【帯広発】宮坂建設工業 十勝管内では  
（株）（帯広、宮坂寿文社長） 二月下旬から今  
は四日、地域貢献の一環と 月にかけて、ま  
して、地域の子どもたちに とまった降雪が  
自然に親しんでもらおう あり、放流会を  
と、学校法人帯広大谷学園 開催するに当た  
音更大谷幼稚園にヤマメ放 り、除排雪作業  
流会の開催を提案。園児約 を実施。また、



五十人が参加し、稚魚二千 アナと雪の女王のキャラク  
匹を然別川に放流した。 ターであるオラフの雪像を  
同社は帯広建管発注の 作り、子どもたちを出迎え  
「然別川総合流域防災工 した。  
区」（伊藤幸輔現場代理 この日、放流には、年長  
人）の工事が竣工すること 組の園児約五十人が参加  
から、地域の子どもたち し、高道伸常務、長谷川稚  
ヤマメを放流することで自 魚を川に放流した。写  
然に親しんでもらおうと、 真。に回った。  
今回の放流会を企画。音更 はじめに、帯広建管鹿追  
大谷幼稚園に呼 復に努め、今後も地域貢献  
びかけ、実現し 活動を行っていきたい」と  
た。

出張所の長沢誠所長が「稚 出張所の長沢誠所長が「稚  
魚たちが安心して暮らせる ように川にごみを捨てない  
ように川にごみを捨てない でね、稚魚を元気に見送り  
ましよう」と呼びかけた。 社員の説明を受けたあ  
と、子どもたちは優しく  
そと、バケツに入った稚  
魚を川に放流した。写  
真。

伊藤現場代理人は「工事  
をするだけでなく、自然回  
復に努め、今後も地域貢献  
活動を行っていきたい」と  
話していた。長谷川常務が  
「ヤマメに負けないように  
元気いっぱい食べて頑張っ  
てください」と園児たちに  
呼びかけ、最後に園児たち  
は「きょうは、ありがとう  
ございました」と、感謝の  
言葉を述べていた。

幼稚園児招き  
ヤマメ放流会

【帯広】宮坂建設工業  
（本社・帯広、宮坂寿文  
社長）は4日、音更町上  
然別地区を流れる然別川  
で、地域貢献活動として  
音更大谷幼稚園の園児を

招いてヤマメの放流会を  
開いた。写真。  
同社は帯広建管発注の  
然別川総合流域防災工  
区を受注。竣工を迎え、  
川や自然に親しんでもら  
おうと企画した。  
園児55人が参加。セレ  
モニーで同建管鹿追出張  
所の長沢誠所長は「ヤマ  
メにとつて一番の天敵は  
人間。安心して成長でき  
るよう、川を汚さないで」



と呼び掛けた。  
園児は3班に分かれ、  
バケツに入った稚魚を  
「大きくなってね」と声  
を掛けながら放流した。  
伊藤幸輔現場代理人は  
「今回の工事では魚道も  
整備した。放流したヤマ  
メが育つよう、きれいな  
河川環境になってくれれ  
ば」と話していた。